

自我作古

自我作古は、「我より古を作す」と訓み、昔のやり方にこだわらず、

自ら新しい方法を考え出し、模範となる先例をつくるという意味です。

SBIグループは、1999年の創業以来20年にわたり、証券・銀行・保険など幅広い金融サービスを

手掛ける世界初の「インターネット金融生態系(金融サービス事業)」の構築や、

ベンチャー企業の投資・育成(アセットマネジメント事業)、新たな医薬品・健康食品等の研究開発・製造(バイオ関連事業)など、

まさにこの言葉が表すように「未来を自ら創って行く」ことに努めてきました。

未来を予測することは難しくとも、自ら未来を創り出すことはできます。我々SBIグループは、

自らが描く未来に少しでも近づくために、これからも挑戦を続けていきます。

CONTENTS

SBIグループの全体像

企業価値の源泉

SBIグループの経営理念	08
事業構築の基本観と全体戦略の変遷	10
事業展開の変遷	12
SBIグループの顧客価値	14
財務・非財務ハイライト	16

担当役員メッセージ

持続的な成長に向けて

投資事業を通じた地方創生	20
証券事業の更なる成長に向けて	22
資産運用体制の拡充	23
価値創造を支える経営基盤の充実	24
経理・財務担当役員メッセージ	26

セグメント別の事業概況

事業を通じた社会貢献

At a Glance	30
金融サービス事業	32
アセットマネジメント事業	34
バイオ関連事業	36

ESG情報

持続的成長を支える力

役員一覧	38
コーポレート・ガバナンス	40
人材価値の向上	46
環境への取り組み	48
ステークホルダーから見たSBIグループ	49

財務・企業情報

7年間の連結財務サマリー	50
ファクトシート	52
連結財務諸表	58
アセットマネジメント事業における 会計処理	62
用語集	63
SBIグループ関連図	64
コーポレート・データ	66
沿革	67
代表取締役社長 北尾吉孝の著書	68

編集方針

本アニュアルレポートは、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの一環として、SBIグループが創出する企業価値について総合的にご理解いただくことを目的として発行しています。そのため、当社グループにおける財務・非財務の両面での取り組みを「価値協創ガイドンス」などの現在の潮流も意識し、紹介・解説しています。今後も読者の皆さまのご期待に沿える誌面編集に努めてまいります。



見直しに関する注記事項

本アニュアルレポートには、SBIホールディングスおよびグループ会社の現在の計画、戦略、および将来の業績見直しに関する記述が含まれています。これらは各資料発表時点において入手可能な情報およびSBIホールディングスが合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見直しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。更に、本アニュアルレポートの内容はいずれも税務・法務・財務面での専門的な助言を含むものではありません。また、SBIホールディングスへの投資の勧誘を企図するものではありません。